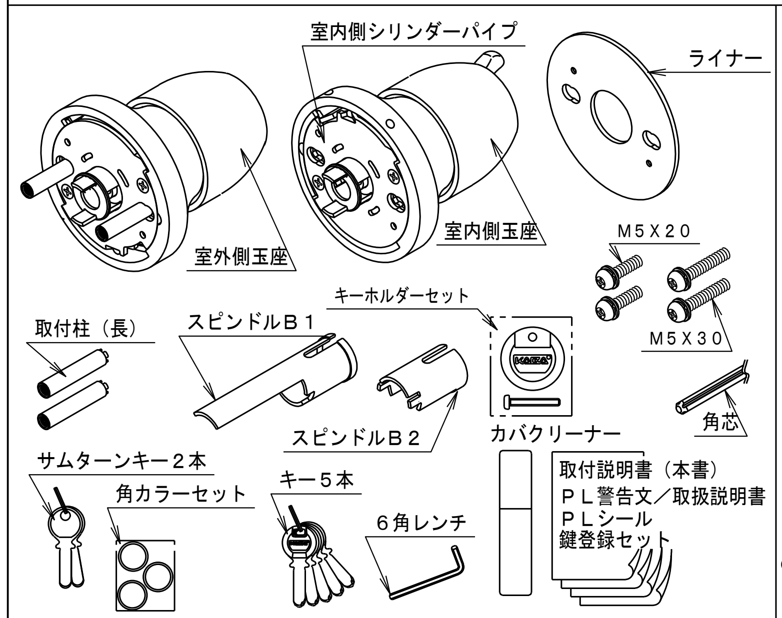
交換玉座セット　型式：６６００－Ｆ

取付説明書　（表）

Ｔ－６６００－０１－１１

梱包一覧



【取付作業準備・手順】

①. 【梱包セット品一覧】により梱包されているセット品の内容を確認して下さい。
　※取り付けする錠型式・扉厚によって使用しない部品もあります。
②. 取付作業をする為の必要な工具（プラスドライバー）を準備してください。
③. 錠前が取付いている扉厚（ＤＴ）と錠前の機種（型式）を別紙の【ＰＬ警告文／取扱説明書】の「製品対応表」で確認して下さい。
④. 取付説明書の手順に従って、正しく作業して下さい。
⑤. 取付調整を完了した後、<キー／サムターン操作説明>に従って機能の確認を行って下さい。
⑥. 取付並び機能確認終了後、ご使用されるお客様へのキー引渡し時に、付属の【カバクリーナー】及び【ＰＬ警告文／取扱説明書】、【鍵登録セット】を添えて下さい。

注意！交換作業はドアを必ず開扉状態で固定して行ってください。
作業途中で閉扉するとドアが開かなくなる恐れがあります。
室内シリンダーの封印シールは取付が終わるまで剥がさないでください。

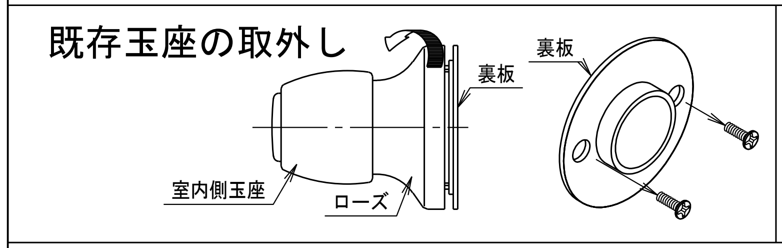
【錠型式／扉厚（ＤＴ）適合表】

部品名	扉厚（ＤＴ）　単位：mm			
	２５～２７	２８～３０	３１～４０	４１～４５
取付柱	取付柱（短）※製品に取付済み			取付柱（長）
ネジピッチ	４４（出荷時）			５０
玉座ユニット固定ネジ	Ｍ５×２０			Ｍ５×３０
ライナー	使用	切欠き穴が大きく取付時の沈み込みが大きい場合に使用		
スピンドルＡ	ＭＩＷＡ　対応　※製品に取付済み			
スピンドルＢ１／Ｂ２	ＡＬＰＨＡ／ＧＯＡＬ／ＳＨＯＷＡ　対応			

【錠型式及び扉厚の確認】

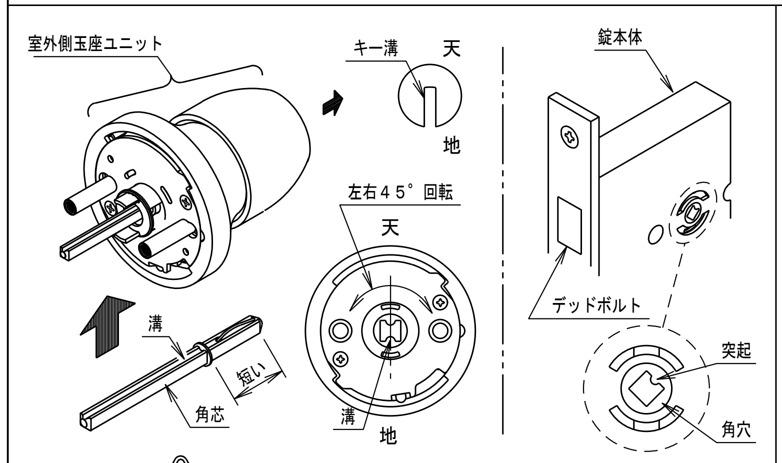
①. 左図から、使用する部品を選びます。
　※工場出荷の状態は〔錠型式：ＭＩＷＡ、扉厚：２５～４０mm、取付柱ネジピッチ：４４mm〕となっています。
②. 錠型式がＡＬＰＨＡ／ＧＯＡＬ／ＳＨＯＷＡの場合、本紙裏の【スピンドルの交換】を行って下さい。
③. 扉厚が４１～４５mm、取付柱ネジピッチが５０mmの場合、本紙裏の【取付柱の変更】を行って下さい。

１、既存玉座の取外し



①. 室内側玉座を手で抑えたまま、付け根の座を反時計回りに回し、扉から外します。
②. 座の裏にある裏板から、取付けネジを外します。
注意！このとき室外側玉座を手で支えます。
取付けネジを外すと室外側玉座が突然落下するので注意してください。
③. 室外側玉座を外します。

２、室外側玉座の取付け　HM錠かつＤＴ４０以下



ＤＴ２７以下の場合はライナーを使用してください。

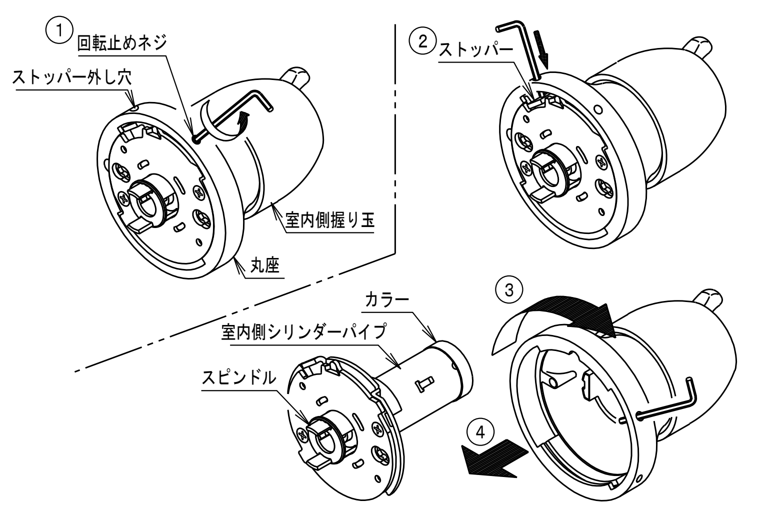
【角芯をセット】

①. 付属の角芯の短い方をを室外側玉座の中心に差します。
　シリンダーのキー溝を下（地）にした状態で、角芯の溝が上下方向から左右４５°回転する事を確認します。
　角芯が左右に回転しない時は、一度角芯を抜いて９０傾け角芯を指し直します。
②. 角カラーを玉座にセットします。（角カラーセットを参照）

【室外側玉座ユニットをセット】

③. 錠本体のデットボルトを引っ込んだ状態で、錠中心の角穴にある突起の向きを確認します。シリンダーのキー溝が下（地）向きの状態で、突起の位置に合うように角芯を回転させ、室外側玉座ユニットを扉にセットします。
④. シリンダーキーで室外側玉座ユニットの動作確認を行います。
　施錠状態、解錠状態でキーが抜ける事を確認します。
　シリンダーキーが抜けない場合、一度角芯を抜いて９０°傾け角芯を指し直します。

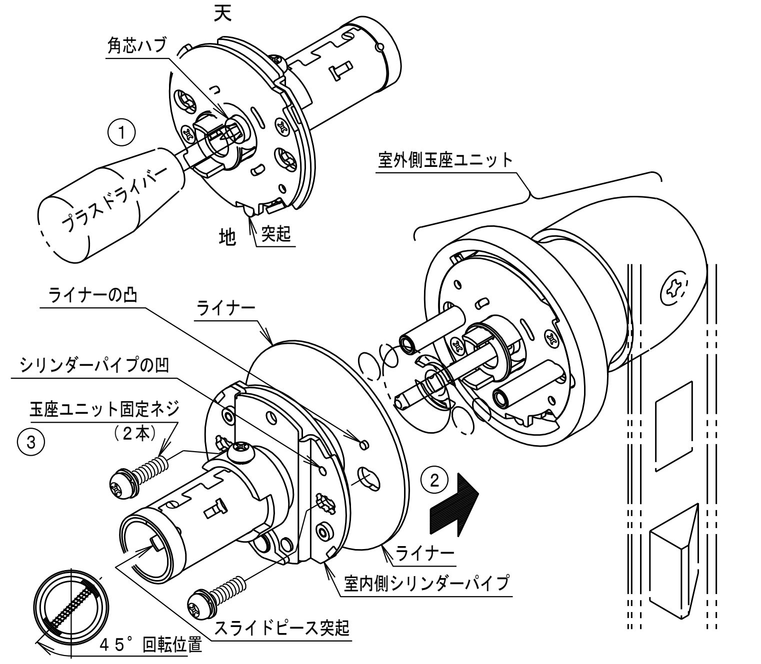
３、室内側玉座の取付け　HM錠



【室内側玉座ユニット下準備手順】

①. 丸座から６角レンチを使い、回転止めネジ（６角穴付ネジ）を外します。
②. ストッパー外し穴に６角レンチを差込み、奥にあるストッパーを押し込みます。
③. ②の状態で握り玉を支え、丸座を③矢印方向に約９０度程回します。
④. ６角レンチを抜いて、室内側シリンダーパイプを取出します。取り出しづらい場合はスピンドルをつまんで取り出して下さい。

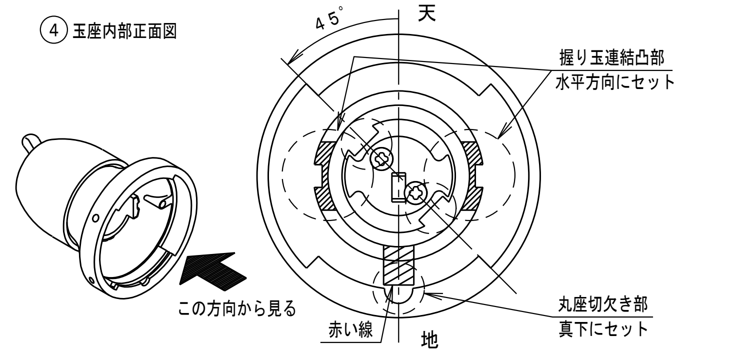
シリンダーパイプを取外した際、カラーが握り玉の中に残っている場合がありますので、握り玉からカラーを傷つけない様に取り出して、シリンダーパイプ先端にはめ直して下さい。



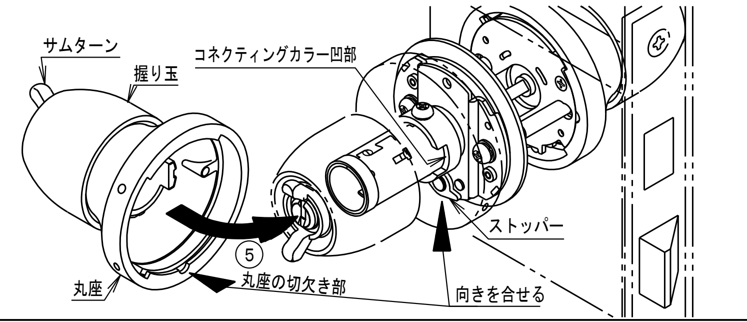
【室内側玉座ユニット取付手順】

①. 室内側シリンダーパイプの角芯ハブをプラスドライバー等で回転させ、「カチッ、カチッ」と手応えがある事を確認した後、シリンダーパイプ内のスライドピース突起が右４５度の位置にくるよう回します。
　※角芯ハブを押し回すと、手応えがありません。
②. 錠本体のデッドボルトが引っ込んだ状態で、シリンダーパイプの突起を下（地）に向け、ライナーと一緒に室外側玉座ユニットに合わせます。
　※ライナーの凸をシリンダーパイプの凹に合わせます。
③. シリンダーパイプと室外側玉座ユニットを、扉厚に合った付属のネジで固定します。
　※適合表参照

注意！ネジで固定する時、錠本体と室外側玉座ユニット・シリンダーパイプの芯振れが無い様に、調整しながら締め付けて下さい。
ネジを強く締めすぎると握玉の操作や施解錠がスムーズに行えなくなります。



④. 室内側玉座の内側から見て、サムターン・握り玉・丸座の回転方向を図の位置に揃えます。
　※握り玉と丸座を赤い線で合せてください。
　※サムターンと握り玉はサムターンの封印テープで固定されています。



⑤. そのままの状態でシリンダーパイプに被せます。

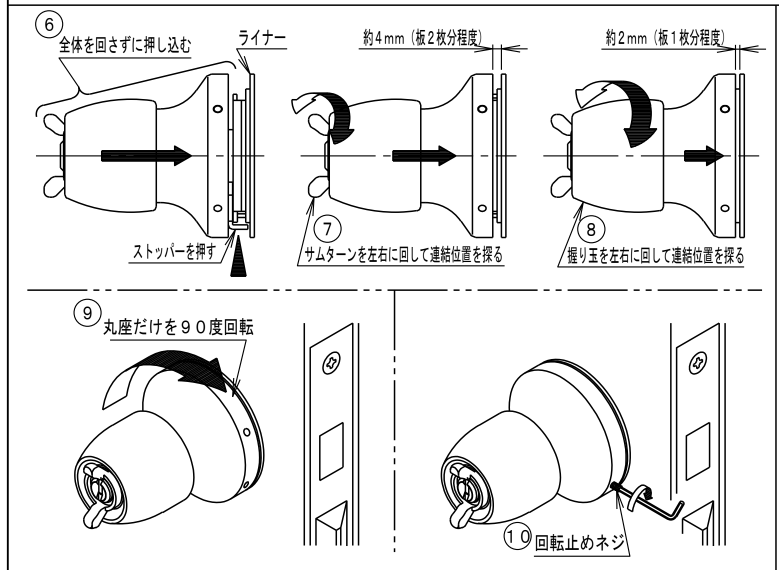
裏面へ続きます

交換玉座セット　型式：６６００－Ｆ

取付説明書　（裏）

T－6600－01－11

３、室内側玉座の取付け（続き）　HM錠



⑥. シリンダーパイプにあるストッパーを押しながら、玉座全体を扉側真っ直ぐ差し込みます。丸座とライナーの隙間が４mm程度の位置まで差し込みます。

※差し込む際は、握り玉も丸座も回しません。

※ライナーに密着するまで押し込めた場合は⑨の手順へ進みます

⑦. 握り玉と丸座は回さずサムターンだけを左右へ少し（３０度程度）回しながら差し込みます。サムターンと錠前が「カチッ」っと連結します。

そのまま丸座とライナーの隙間が２mm程度の位置まで差し込みます。

⑧. 丸座は回さず握り玉を左右へ少し（３０度程度）回しながら差し込みます。

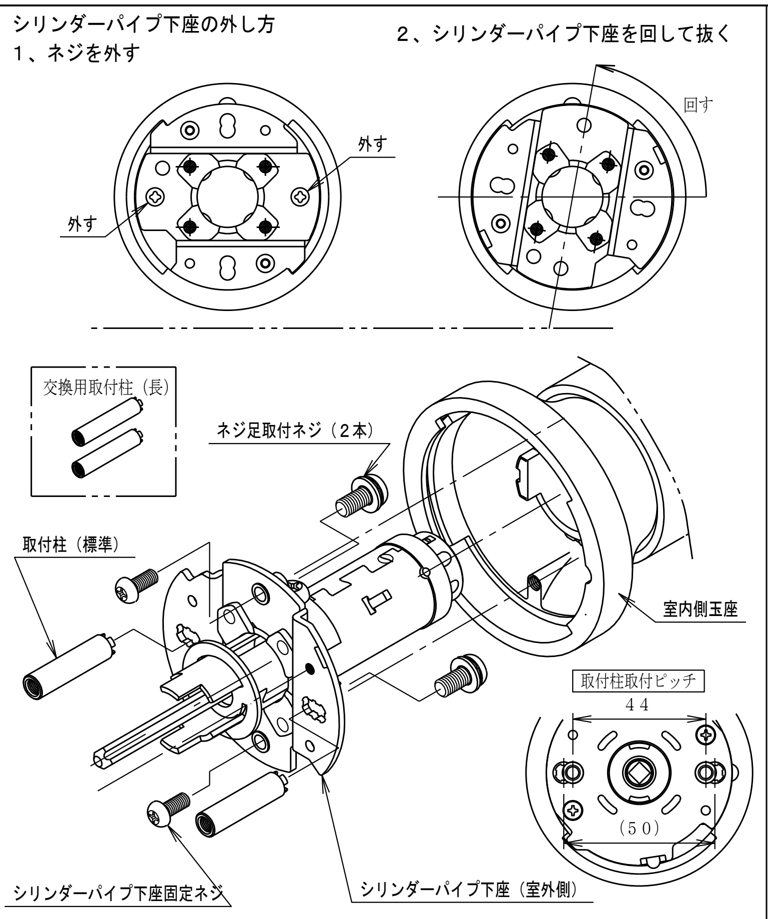
丸座とライナーが密着するまで差し込みます。

※握り玉と錠前が連結しラッチ操作できます。

⑨. 玉座全体を密着させたまま、丸座だけを右へ９０度回し、シリンダーパイプと丸座を連結させます。

※連結のした時は感触があり、連結後丸座は回りません。

⑩. 【室内側玉座ユニット下準備手順】で外した回転止めネジ（６角穴付ネジ）を丸座の元の位置に戻します。



【取付柱の交換手順】

①. 室外側玉座ユニットから取付板カバーとスピンドルを外します。

※【室外側スピンドルＢ１交換手順】を参照

②. シリンダーパイプ下座固定ネジを外し、シリンダーパイプ下座を外します。

※シリンダーパイプ下座の外し方参照

③. シリンダーパイプ下座からネジ足取付ネジを外し、付属の取付柱を交換します。

【ネジピッチの変更手順】

④. シリンダーパイプ下座に取付柱を取付ける際、

取付柱のネジピッチを変更できます。　（出荷時は４４、変更は５０）

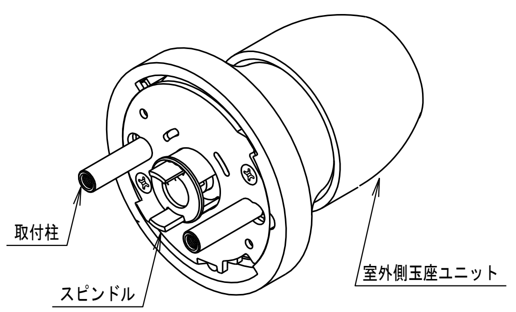
※実際の錠本体を確認の上、変更してください。

⑤. 再びシリンダーパイプ下座を室外側玉座に取付けます。

※取付けの時はシリンダーパイプ下座を強く回してください。

「２、室外側玉座の取付けＨＭ錠」と同様の手順で取付けます。

４、室外側玉座の取付け　HM以外の錠又はＤＴ４１以上



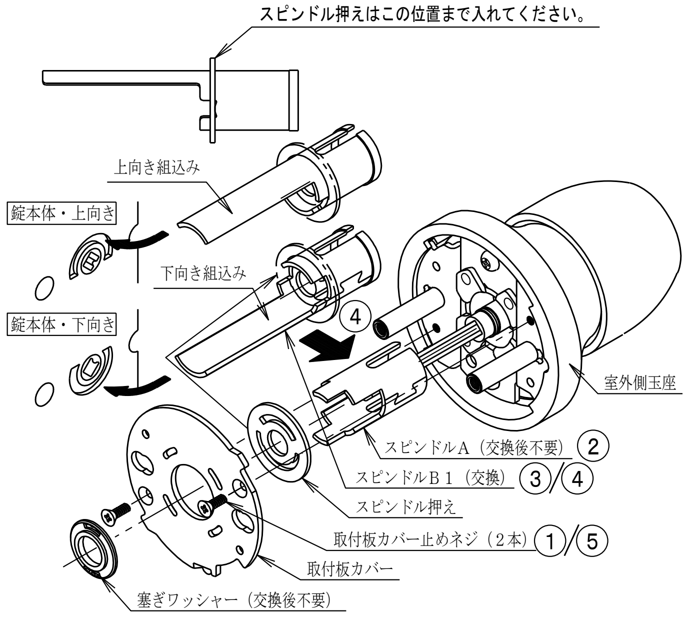
【室外側玉座ユニット下準備】

①. ＨＭ以外の錠ケースはスピンドル交換とネジピッチ変更が必要です。

※表面の「錠型式／扉厚（ＤＴ）適合表」を参照

②. 扉厚がＤＴ４１以上の場合は、取付柱を交換する必要があります。

③. 錠の種類によっては、取付柱ネジピッチを変更する必要があります。



【室外側スピンドルＢ１交換手順】

※室外側玉座のシリンダー鍵穴（鍵溝向）を上に向けた状態で組換え作業して下さい。

①. 取付板カバー止めネジを２本外し、

塞ぎワッシャーと取付板カバーを取外します。

②. スピンドルＡを抜取ります。

※塞ぎワッシャーは不要になりまが、スピンドル押えは交換後使用します。

③. 付属のスピンドルＢ１に入れ替えます。

※錠本体の切り欠きに合わせ、スピンドルＢ１を取付けます。

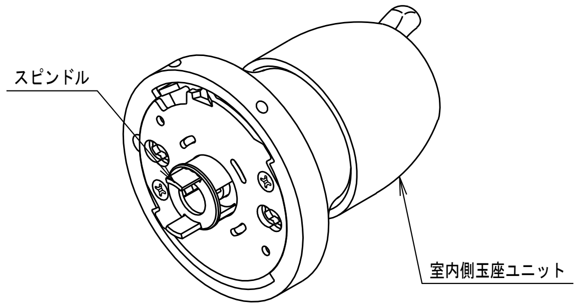
④. スピンドル押えをスピンドルＢ１に取付けます。

※スピンドル押えは取付け向きがあります。

※図の位置まで入らない時は、１８０°回転させて取付けてください。

⑤. 再び取付板カバーを取付け、取付板カバー止めネジを締めます。

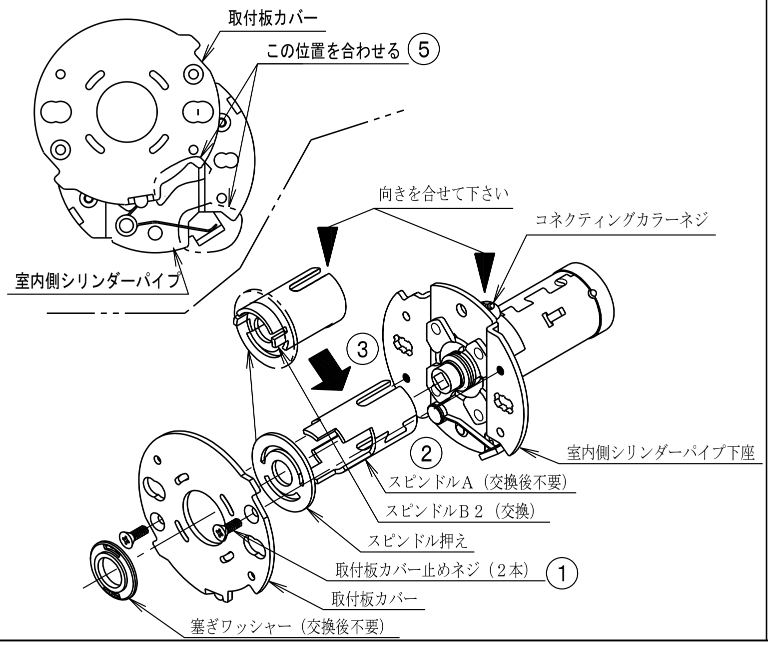
５、室内側玉座の取付け　HM以外の錠



【室外側玉座ユニット下準備】

①. ＨＭ以外の錠ケースはスピンドル交換とネジピッチ変更が必要です。

※表面の「錠型式／扉厚（ＤＴ）適合表」を参照



【室内側スピンドルＢ２交換手順】

①. 室内側シリンダーパイプから取付板カバー止めネジを外し、スピンドルＡ、塞ぎワッシャーと取付板カバーを取外します。

②. スピンドルＡを抜取ります。

※塞ぎワッシャーは不要になりますが、スピンドル押えは交換後使用します。

③. 付属のスピンドルＢ２に入れ替えます。

スピンドルＢ２の切り欠き部がコネクティングカラーネジと合うようにします。

⑤. 再び取付板カバーを取付け、取付板カバー止めネジを締めます。

※取付板カバーを取付ける際は向きにご注意ください。

「３、室内側玉座の取付けＨＭ錠」と同様の手順で取付けます。

角カラー取付要領図

①付属セット部品の確認をして下さい

②扉面から錠ケースまでの深さを測って下さい。

③組合せ表により扉面からの深さ寸法に合った組合せにセットして下さい。

④角芯カラー組合せ部品をノッブの５角軸にセットして下さい。

⑤角芯カラーを取付けた状態でノッブを扉（錠ケース）へ取付けて下さい。

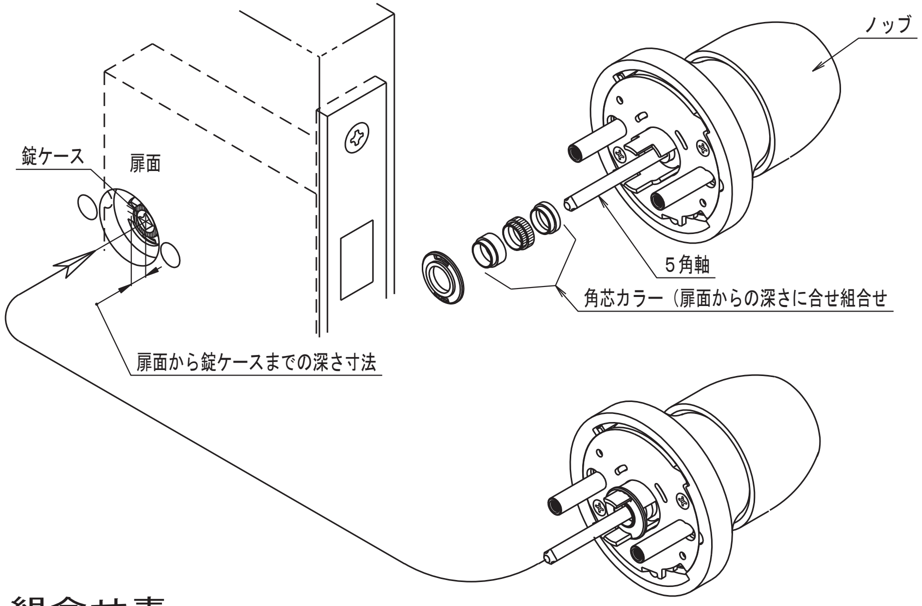
注意）　取付け後、キーの回転が渋くなる場合は、角芯カラーの組合せを

　　変更（１ランク短い組合せ）して、取付け直して下さい。

付属セット部品

角芯カラー（A・B・C各１ヶ）	
記号名	厚み寸法（mm）
A	４．５
B	５．５
C	６．５

※　Bは、識別の為にメッキが付いています。



組合せ表

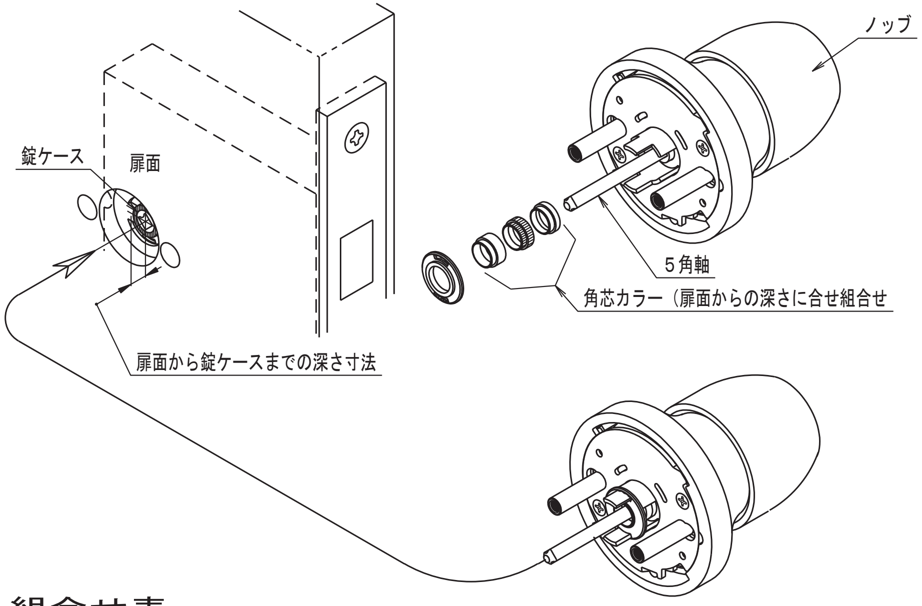
深さ寸法	組合せ記号	扉面側　←　重ね状態及び全長	深さ寸法	組合せ記号	扉面側　←　重ね状態及び全長
３．０～	A	４．５mm	９．０～	C+[A]	１１．０mm
４．０～	B	５．５mm	１０．０～	C+B+A	１１．５mm
５．０～	C	６．５mm	１１．０～	A+B+C	１２．５mm
６．０～	B+A	７．５mm	１２．５～	C+[A]+[B]	１４．０mm
７．０～	C+A	８．５mm	１３．５～	C+[B]+[A]	１５．０mm
８．０～	C+B	９．５mm	１５．０～	A+[B]+C	１６．５mm

※１．上図の角芯カラーの組合せの向きは、左側が扉面になるようにノッブの角軸へセットして下さい。
※２．上記の組合せ記号に四角囲みのあるものは、角芯カラーの段付き部が右側になるようにして組合わせて下さい。

角カラー取付要領図

①付属セット部品の確認をして下さい
②扉面から錠ケースまでの深さを測って下さい。
③組合せ表により扉面からの深さ寸法に合った組合せにセットして下さい。
④角芯カラー組合せ部品をノッブの５角軸にセットして下さい。
⑤角芯カラーを取付けた状態でノッブを扉（錠ケース）へ取付けて下さい。
注意）　取付け後、キーの回転が渋くなる場合は、角芯カラーの組合せを
　　変更（１ランク短い組合せ）して、取付け直して下さい。

付属セット部品
角芯カラー（A・B・C各１ヶ）
記号名　厚み寸法（mm）
A　４．５
B　５．５
C　６．５
※　Bは、識別の為にメッキが付いています。



組合せ表

深さ寸法	組合せ記号	扉面側　←　重ね状態及び全長	深さ寸法	組合せ記号	扉面側　←　重ね状態及び全長
３．０～	A	４．５mm	９．０～	C+[A]	１１．０mm
４．０～	B	５．５mm	１０．０～	C+B+A	１１．５mm
５．０～	C	６．５mm	１１．０～	A+B+C	１２．５mm
６．０～	B+A	７．５mm	１２．５～	C+[A]+[B]	１４．０mm
７．０～	C+A	８．５mm	１３．５～	C+[B]+[A]	１５．０mm
８．０～	C+B	９．５mm	１５．０～	A+[B]+C	１６．５mm

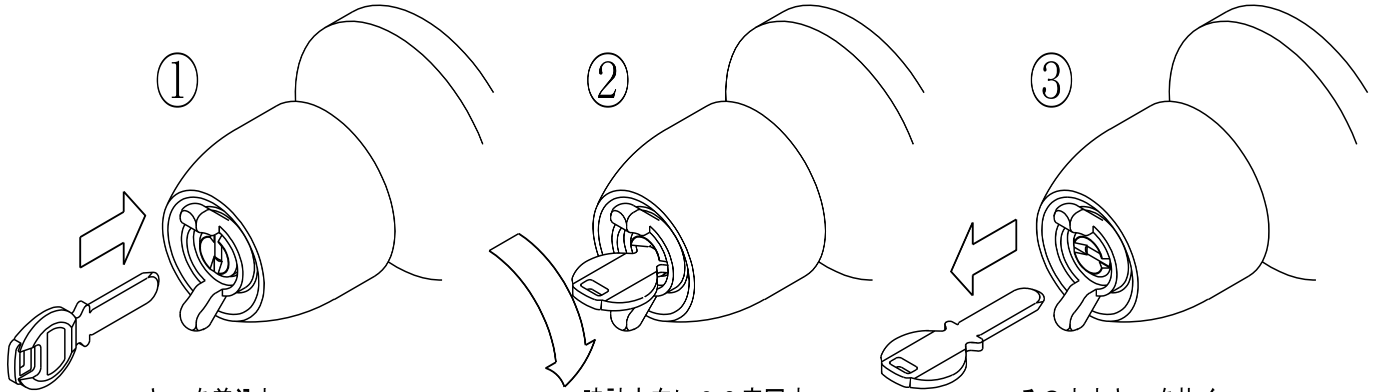
※１．上図の角芯カラーの組合せの向きは、左側が扉面になるようにノッブの角軸へセットして下さい。
※２．上記の組合せ記号に四角囲みのあるものは、角芯カラーの段付き部が右側になるようにして組合わせて下さい。

T－6600－03－10

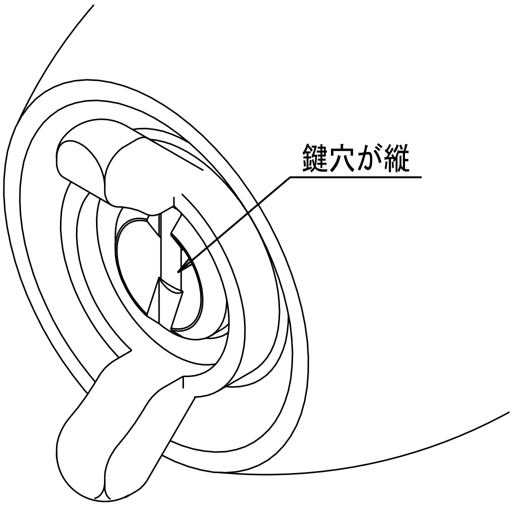
製品対応表

メーカー	機種名	バックセット
MIWA	HM	51，64，76，100，127
	HMS	51，64，76
	145HM	100
GOAL	UC	57，64，83，100
SHOWA	ISD	64，76，100
	ID	70
	IS	64，76，100
ALPHA	36	60，64，100
	30，32	60，64，100

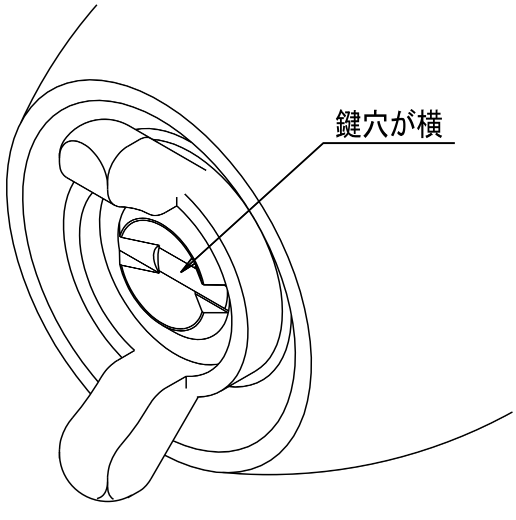
【室内側サムターンのフリー機能の操作方法　６６００－Ｆ】



①キーを差込む　②時計方向に９０度回す　③そのままキーを抜く



サムターン連結状態
（施解錠可能）



サムターンフリー状態
（施解錠不能）